

74. Dual Energy CT撮影による胆石の検出能の評価

研究の概要

単純CT撮影においてX線陰性胆石は検出が困難です。しかし、Dual Energy CT撮影し、仮想単色X線画像を取得することにより検出が可能と報告があります。当院で、検出された胆石症例を後向きに描出能を評価し、視認性の優れる描出条件を検討します。

研究の目的と方法

検出された胆石症例を後向きに描出能を評価することを目的とします。当院でDual Energy CT（管電圧100kV/Sn140kV）撮影した胆石症例を後向きにCT値を測定し、比較します。また視認性の優れる描出条件を検討します。

本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また研究に扱う情報は、個人が特定されない形で、厳重に行います。本研究にご自身のデータの使用をご希望されない方は、あるいはご質問等おありの方は、末尾の問合せ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たな検査をすることはなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。急性胆のう炎などの画像所見を呈する症例のCT検査、MRI検査の内容を調査します。個人情報の取り扱いについては、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適応される法令、条例等を遵守します。研究対象者の情報を取り扱う場合は秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

調査期間

研究対象期間：令和1年6月1日～令和1年9月30日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和1年12月31日まで

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。個人情報は調査しないので、個人が特定されることはありません。

研究代表者

放射線科 岩元 優樹

当院における研究責任者

放射線科 岩元 優樹

問い合わせ先

放射線科 岩元 優樹

TEL: 096-353-6501